

腎友さがみはら

腎友会ニュース 第153号

相模原市

発行日:平成31年3月24日

責任者:羽田 彌

相模原市南区南台2-8-1-301 TEL 042(748)3773



淵野辺総合病院 賛助会員 平野和子様 人形 『笑点』大喜利メンバー』

目次

・第37回 ふれあい作品展結果報告	2
・相模原腎友会からの出展一覧	3
・ふれあい作品展出展全作品	4
・透析患者の行動分析アンケート調査発刊を終えて	6
・市長懇談会及び福祉施策懇談会参加報告	7
・闘病記	8
・活動日誌、新規入会者紹介、行事開催お知らせ、編集後記	10

♥ 第37回 ふれあい作品展結果報告 ♥

相武台ニーレンクリニック

小久保きよ子

(神奈川県腎友会ふれあい作品展実行委員会委員)

平成31年1月18日(金)～20日(日)に神奈川県腎友会の作品展が開催されました。開催場所は、かながわ県民センター1階展示室です。昨年は新横浜の横浜ラポールだったので駅から遠い・・・ということもあり来場者は少なかったのですが(173名)、今年は207名の来場者がありました。

私は役員としてお手伝いさせて頂いているのですが、来場して下さった皆様に感謝いたします。

今年も県内の地域(横浜・川崎・三浦・湘南・相模原・県央)から多くの作品がありました。出品者と出品数ですが68名・137個の作品です。昨年は、93名・243個でした。作品数が減ったのは少し残念ですが皆さん体力的に無理はできないと思いますので仕方ありません。この作品の中から来場者の皆様に良かった・・・と思われる作品を一人3点まで投票して頂き15位までの入賞者を決めます。どの作品も素晴らしいので皆さん悩まれていました。相模原からも7名のご協力がありました。作品は写真、手作りのドレス、パンフフラワーと素敵な作品ばかりでした。中でも患者さんのご家族が作られた「笑点・大喜利の人形7体」は素晴らしく、細かい所や表情がよくできていて見学されている方も立ち止まり皆さん笑顔になっていました。そして、投票の結果、この作品が2位に入賞されました。おめでとうございます。

毎年の事ですが入賞された方も、されなかった方も日々の透析生活のなか、または、ご家族を支えながらの作品作りだと思います。大変な事とは思いますが、この作品展を励みに皆様が毎日楽しく過ごされる事を願います。

また、この作品展を開催するには出品される方は勿論のこと、多くのボランティアさんの協力無しでは成り立ちませんので、感謝の気持ちで一杯です。

まだ出品した事が無いという方も自慢の作品を出してみませんか？

入賞されなくても皆様に参加賞は出ます。

次回は2020年2月21日(金)～23日(日)、場所は、かながわ県民センターです。

皆様のご協力をお待ちしています。

神奈川県腎友会ふれあい作品展への
相模原市腎友会からの出展一覧

出展者氏名	病院・クリニック名	作品名	会員 ・家族
小久保きよ子	相武台ニーレンクリニック	陶器 茶碗	会員
平野和子	淵野辺総合病院	人形「笑点」大喜利メンバー	家族
平野和子	淵野辺総合病院	貝型布小物入れ	家族
二ノ宮美和子	相模大野内科・腎クリニック	写真 チューリップ	会員
江口房子	橋本クリニック	パンフラワー	会員
平田亜香音	橋本クリニック	帽子	家族
渡部佳子	相模大野内科・腎クリニック	ピアノ発表会用花柄ドレス	会員
樋口一夫	森下記念病院	俳画 離れ鴛鴦（おしどり）	会員



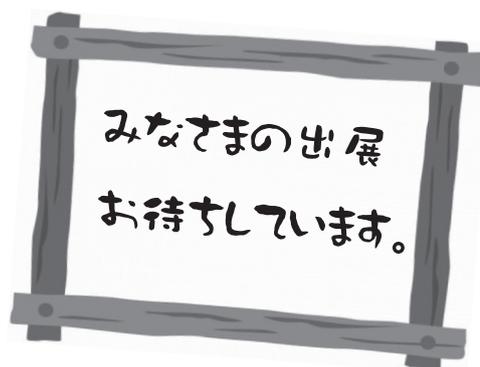
相模原市マスコットキャラクター「さがみん」



相模原市腎友会 出展全景



陶器 茶碗 小久保きよ子様



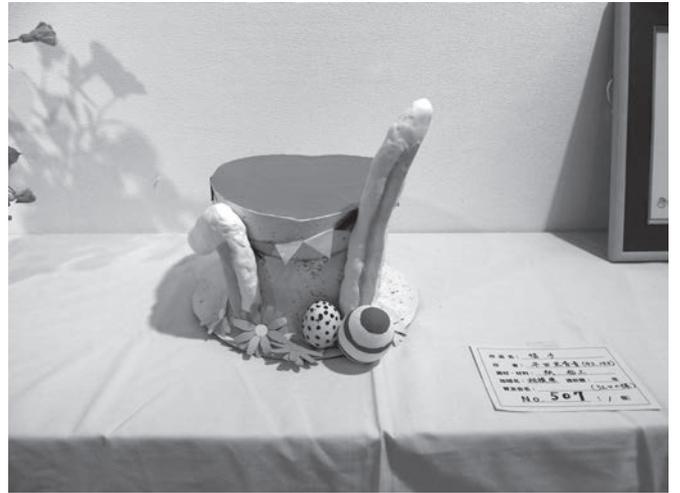
貝型布小物入れ 平野和子様



写真 チューリップ ニノ宮美和子様



パンフラワー 江口房子様



帽子 平田亜香音様



ピアノ発表会用花柄ドレス 渡部佳子様



俳画 離れ鴛鴦 樋口一夫様

「第3回神奈川県全域における透析患者の 行動分析アンケート調査」 発刊を終えて

橋本みなみ内科本院

加賀谷 文博

(神奈川県腎友会医療福祉災害対策委員)

腎友さがみはら御愛読の皆さん、当初予定を大幅に遅れました当アンケート調査誌ですが、何とか発行に漕ぎ着けました。既にお手元に届き、目を通されたと思いますが御感想の程は如何でしょうか。当機関紙面を活用し、どしどしお声を頂けたらと思います。

御案内の通り5年に一度の発行も回を数える内、吾々透析者は確実に老齢期に向かい全体として足早な低所得化に甘んじ、日々通院に励んでいます。今回、回答者のベースは、比較的自ら行動をとれる70歳・80歳代を中心とした方々と想定されますが、この先5年・10年を展望した時、決して安穩と過ごす訳に参りません。

会員意識を一層高め、国に対しては請願署名運動を通して「特定疾病療養受療証」の堅持を。

市行政・議会に対しては「重度障害者医療証（マル障）」に依る医療無償の維持を。

更に福祉・通院手当に関する諸条件維持・向上を。

これ等重要事項は腎友会単独でなく、共通項に就いては今後もNPO法人れんきょうの仲間達と連携して、要請し声を届ける必要があり、当会羽田会長もNPO法人れんきょうの副会長を兼任され日夜熱く指導されています。

今回アンケートは従来のものに2問追加して全25問と多岐に亘り、一気に回答するには少々しんどいボリュームとはなりましたが結果全回収率42.9%と低回答数に甘んじ、貴重な経費と労力を費やすには些か勿体ない事態とは、何やら日頃、非会員への加入呼び掛けに対する冷やかな反応ぶりの如く、昨今の無関心さに結びつく様相です。是非とも次回の当企画には盛況を期待したいと思います。



◆NPO法人れんきょう主催の 市長懇談会及び福祉施策懇談会参加報告◆

相模原市腎友会が加盟しているNPO法人れんきょうが主催する市長懇談会及び福祉施策懇談会に参加しましたのでその結果につきご報告いたします。両懇談会共に今年度で7回目を数えており恒例の行事になりました。また、この両懇談会に先立ち、NPO法人れんきょうは市内の全障がい児者福祉団体24団体を対象としての障がい福祉施策に関しての市への要望・提案についてアンケート調査を昨年10月に行っており、14の障がい児者福祉団体から回答を得ております。

まず市長懇談会ですが、平成31年2月1日（金）10時半から11時まで行われ、市側からは、加山市長、梅沢副市長、熊坂健康福祉局長、小林福祉部長、芦野障害政策課長他が、れんきょう側からは鈴木会長、古山会計理事、島森理事、それに副会長として羽田が出席しました。前述のアンケート調査の実施結果について概要を報告して、その中で以下の3点を取り出して市長に提案・要望を行いました。

- 1つは、「市の単独事業の扶助費等の見直し（＝障がい福祉施策の見直し）」について「必要なサービスを必要な人に」を充分考慮した見直しを行って欲しい。
- 2つ目は障害者差別解消の推進に関して市の条例制定を検討いただきたい。
- 3つ目は障がい者の各種相談に対応できる「相談支援体制の充実」を図っていただきたいというものです。

市長からは、1番目の障がい福祉施策の見直しについては「障がい当事者の声を丁寧に聞いて、実効性のある施策を目指していきたい」との回答でした。次に、2番目の障害者差別解消推進については、「条例制定は、多様な市民が共にささえあい生きる社会をつくりあげていく上でも意味があるものと認識しており、障がい者団体とも意見を交わし、制定に向けて検討を進めていきたい」とのことでした。3番目の相談支援体制充実については「障害のある方の困りごとの入り口となる相談は、福祉施策の重要な柱であり、相談支援体制の充実に向けて検討していきたい」とのことでした。

福祉施策懇談会については、平成31年2月3日（日）10時から12時まで行われ、市側からは熊坂健康福祉局長、小林福祉部長、芦野障害政策課長以下関係課長・所長など総勢15名が、障がい児者福祉団体側からは15団体28名が出席しました。前述のアンケート結果の相模原市への提案・要望などを中心に活発な意見交換がなされました。相模原市腎友会からの要望の「重度障害者医療費助成制度の継続」について市側からは、「来年度は現行制度のまま継続していきます」との回答を、また「福祉タクシー利用助成の増額要望」は「事業の目的や効果、他都市との水準の比較などの視点から見直しを進めると共に障害者団体等の意見も伺っていく」とのと回答で、従来回答と違う点は「他都市との水準の比較」が入った点でした。

（羽田 記）

わたしの闘病記 人工血管の手術を受けて



相模大野内科・腎クリニック
二ノ宮美和子

「えっ！」

定期的に受けているPTA（経皮的シャント拡張術）施術中に医師が発した声。この時からわたしの苦難の日々が始まった。どうやら上腕の血管が閉塞しているのではなく、断絶しているようだった。普通ならば上腕には二つの太い血管が二本あって、一方が断絶しても、もう一方が機能すれば問題ない。しかし、不幸にも理由は不明だが、私には断絶した血管の一本しかなかった。それでもその日はPTAを受け、帰路についた。

翌週は自分の通うクリニックで透析ができたものの、週末に技師さんから血管が硬くなっているとの指摘を受け、再度、PTAを受けたクリニックへ足を運んだ。シャントの具合を診てくれたM先生は、「シャントの拡張は先々週、やったばかりだよ。うーん。」それからしばし、カレンダーとにらめっこ。どこかへ電話をかけ、わたしの状態を説明し始めた。それを終える toward わたしに向かい、「あした入院。午後4時半から人工血管を入れる手術をします。」と告げた。まさに青天の霹靂、わたしは言葉を失った。

10月3日水曜日、わたしはM先生の指示に従い、横浜の青葉区にあるT病院にいた。午前中、首にカテーテルを入れ、透析。4時半の手術を待った。その間にT病院で主治医となるS先生から手術の概要を聞いた。入院計画書には入院期間、2週間～4週間と記載されていた。4週間の入院を覚悟した。

そもそも透析歴4年目のわたしが、人工血管を入れるという事態になったのは、血管が細いことに起因している。当然M先生からは、人工血管の手術も難しいと言われた。透析さえすれば元気なわたしだが、その命とも言えるべきシャントが不具合ではどうすればいいのだろうと不安が押し寄せる。

M先生の熟練の手技で見事に手術は成功した。ほっとした。だが、これは闘病の第一段階にすぎなかったと後で思い知ることになる。手術日の夜は痛くてもあたりまえと痛み止めも飲まずにやり過ごした。二日目の夜はやせ我慢はやめてカロナールを一錠服用した。よく眠れた。これですぐに退院できるだろうと思ったが、痛みはやわらいだものの、三日目から人工血管を入れた左腕、左手が腫れ上がってきた。腕は普段の二倍の太さ、手は野球のグローブのようだった。それもそのはず、人工血管という人工物が体に入ったのだから腫れるのは仕方ないことだった。特にわたしの場合、肘の上まで人工血管を入れる必要があったので、しなやかだが術後の腫れがひくまでに時間がかかるePTFE製を選ばざるをえなかった。

それから毎日両腕の太さを比べながら過ごす日々。早朝、今日こそ腫れがひいてるかもしれないと期待して腕や手を見るも、変わらない。体は首からの透析で、すこぶる快調。元気な体を持って余した。

はじめは腫れるのは当然と言っていたS先生も看護師さんも、次第にうーんという感じで腕と手を診ていく。覚悟した4週間が経過してもわたしの腕と手は…。季節は晩秋へと移っていた。もうこの病院から永久に出られないのではないか、そんなことを考える。

入院生活が5週目をすぎる頃から、少しずつ腫れがひいていく感覚はあった。特に手は腫れのためにしわがなくなっていたが、指にはそれがもどってきた。しわの出現を喜ぶなんて。6週目、S先生から脱血部だけ人工血管に穿刺してみようという提案があった。やったー。心にたれこめていた霧が晴れていく。それでもぬか喜びにならぬように用心する自分がいた。11月14日水曜日、人工血管で透析ができた。脱血も返血も人工血管でできたのだ。翌日、首に入れていたカテーテルが抜かれ、週末の外泊が許可された。その後T病院で一週間、透析を受けながら人工血管とのつきあい方(止血をしっかりする・透析時に動脈圧の推移を記録し、上昇に転じたら受診するなど)を教えてもらった。

11月24日土曜日、わたしは退院した。S先生の『時間はかかったけど腫れがひいてよかったね』の言葉が胸に染みた。今はM先生の定期診察を受けながら、順調に透析ができています。先生をはじめとする病院のスタッフ、何回もお見舞いに来てくれた友人と家族、すべての人に感謝の気持ちでいっぱいだ。



◆ 活 動 日 誌 ◆

※1 氏名は参加者を示します。順不同です。

※2 「れんきょう」は、相模原市腎友会が加盟している「特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会」を示します。

- 12/02 (日) 第219回役員会 舘盛、江口、大谷、加賀谷、平野、宅田、渡部、二ノ宮、小久保、石亀、羽田
- 12/07 (金) ~09 (日) 身体障害者連合会作品展 江口、平野 (奥様)
- 12/08 (土) ほかほかふれあいフェスタ (れんきょう) 羽田
- 12/09 (日) 平成30年度障害者週間のつどい 小久保、石亀、江口、加賀谷、羽田
- 12/16 (日) 県腎友会ふれあい作品展実行委員会 小久保
- 12/23 (日) 「腎友さがみはら152号」印刷・発行 平野、石亀、宅田、加賀谷、二ノ宮、渡部、羽田
- 01/04 (金) 市民会館会議室利用抽選会 羽田
- 01/07 (月) 相模原市賀詞交歓会 羽田
- 01/20 (日) 新成人を祝う会 (れんきょう) 羽田
- 01/21 (月) れんきょう理事会 加賀谷、羽田
- 01/27 (日) 県腎友会理事会 加賀谷
- 01/28 (月) 防災市民連絡会議 (れんきょう) 羽田
- 02/01 (金) 市長懇談会 (れんきょう) 羽田
- 02/03 (日) 平成30年度福祉施策懇談会 (れんきょう) 加賀谷、羽田
- 02/03 (日) 県腎友会ふれあい作品展実行委員会 江口、小久保
- 02/10 (日) 第220回役員会 加賀谷、宅田、工藤、渡部、小久保、石亀、二ノ宮、羽田、山崎 (オブザーバー)
- 02/17 (日) れんきょう創立30周年記念行事 (式典・講演会) 加賀谷、羽田
- 02/20 (水) 市民健康づくり会議幹事会 渡部
- 02/24 (日) 県腎友会広報委員会 石亀
- 02/28 (木) 県腎友会常任理事会 平野
- 03/03 (日) 腎友さがみはら153号編集委員会 平野、宅田、石亀、二ノ宮、羽田
- 03/09 (土) 市民健康づくり会議健康づくり講座 渡部
- 03/11 (月) れんきょう理事会 加賀谷、羽田

◆新規入会者ご紹介◆

山口良一様 相原病院

◆行事日程◆

■第37回定期総会

日 時 平成31年5月26日 (日) 10時から

会 場 あじさい会館6階 第1、第2展示室

アトラクション 昨年同様にマリンバ演奏

■第67回ふれあい会日帰り旅行

期 日 平成31年6月16日 (日)

行き先 群馬県磯部温泉 雀のお宿磯部館と

こんにゃくパーク

■第36回医療・栄養講演会並びに懇談会

日 時 平成31年7月7日 (日) 10時から

15時30分

会 場 相模原市民会館

編集後記

わたしたち透析患者にとって、冬は受難の日々です。明日の天気は？気温は？雪だったら遅れずに病院へ行けるかなあ、寒いといやだなあ、等々。インフルエンザの流行も気にかかります。

弥生、三月、梅の花が咲き、黄水仙のつぼみがふくらんできました。春はそこまできています。縮こまった体を伸ばし、陽光を求めて外出してみてもどうでしょう。

(二ノ宮 記)

